

Earth Caravan 2016



「アースキャラバン 2016」 事業報告書



Japan Event

長崎: 4/14(木)ピースサイクリング出発式
 広島: 4/23(土), 4/24(日)
 尾道: 4/26(火)
 加古川: 4/29(金)
 京都: 5/3(火), 5/4(水)
 長崎: 5/6(金)
 大阪: 5/8(日)
 浜松: 9/22(木祝日)
 東京: 9/24(土), 9/25(日)

Over Seas Event

カナダ
 トロント: 5/31
 ケベック北部: 8/15-8/19
 USA
 マディソン: 7/31
 中東
 テルアビブ: 8/2(火)
 エルサレム: 8/3(水)
 ベツレヘム: 8/4(水)-8/8(月)
 エルサレム: 8/9(火)

Earth Caravan 2016 「分かち合おう地球を、幸せと自由を SHARE！」

戦後70年目の節目にあたる2015年夏、広島からエルサレムまで、原爆の残りの火「平和の火」を携え、世界を巡礼し、平和と祈りのコンサートやイベントを行う「アースキャラバン」がスタート。国内～ヨーロッパを経て、今なお困難な状況が続いているパレスチナ及びイスラエルに「平和の火」を世界で初めて届けました。アースキャラバンは、人種や宗教を超えて、すべての平和を願う人々と共に語り合い、歌い、踊り、祈り、平和を願う人々の想いを集め、戦争のない明るく平和な未来の実現に向けて歩を進めてまいります。

特定非営利活動法人アースキャラバン

「分かち合おう地球を、幸せと自由を SHARE！」



「Earth Caravan 2016」 事業報告

【目的】

人種、宗教、国籍、思想信条などを超えて、地球に生きるすべてのいのちを大切に、紛争や戦争のない平和な世界の実現を目指して、「分かち合おう地球を、幸せと自由を SHARE！」をテーマに、他文化を理解し相互理解を深めるために Earth Caravan2016（アースキャラバン）を実施します。

【期間】 2016年4月14日（長崎）～ 9月25日（東京）

【主催】 特定非営利活動法人アースキャラバン（理事長 野本祐子）

【後援】 広島県、広島市、長崎市、京都市、尾道市、江東区、朝日新聞社、毎日新聞社、京都新聞、中国新聞社、長崎新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、NBC長崎放送、（公財）広島観光コンベンションビューロー、（一社）江東区観光協会、（一社）尾道観光協会

【協賛】 (株)ポーソレイユ、丸松木材株式会社、浜田市、(株)健康ライフ、(株)アンデックス・スポーツサイクル事業部、(株)寺田本家、(有) AMA Japan、(株)朝倉製作所、沖縄物産 真南風、はなみずき鍼灸マッサージ治療院、(福)聖救主福祉会まこと保育園、(株)ごとう、日本国際テコンドー協会、MAGAM PROJECT ほか

【発起人】 遠藤暁及(えんどうりょうきゅう)（浄土宗和田寺住職・ミュージシャン・タオ指圧創始者）

【概要】

2015年、平和の願いのシンボルである広島原爆の残り火「平和の火」を携えて、被爆地・長崎からアースキャラバンはスタートしました。日本国内～カナダ、北米、中東各地を平和へのメッセージを発信しながら、最終地の中東の聖地エルサレムでは、世界の4つの宗教の宗教者が一同に会し、人類平和のための祈りと声明を発表しました。

また、世界の各地で相互理解のための場の創造としてピース・コンサート、ピース・アートギャラリー、18ヶ国の人々が歌うテーマソング「SHARE！」や4大宗教融合ソングの合唱、平和への祈り、を行いました。

さらにパワーアップした「アースキャラバン2016」では、広島・京都・東京の3大イベントに加えて、長崎、尾道、加古川、浜松などでの国内イベントを実施や中東のベツレヘム・フェスティバルへの参加を通じて、相互理解のための場の創造、祈り(平和への願いと戦争犠牲者への祈り)、戦争で傷ついた人々への支援(寄付)、を行いました。



【全体行程】

2016年4月14日、世界で最初の被爆国である日本から、平和への願いを世界に伝えるために、広島原爆の残り火である「平和の火」と長崎の「被爆樹の苗」を携え、アースキャラバン2016がスタートしました。長崎市議会前広場で田上長崎市長をお迎えし「Earth Caravan 2016ピースサイクリング出発式」が行われ、メインサイクリストのイギリス人女性スーザン・エディさん及び長崎大4年生で被爆三世の中村圭輔さんが長崎市役所前をスタート。その日の夜に熊本地震に遭遇しながら、無事広島市に到着。広島市役所を訪問し室田副市長や広島市職員の皆様と歓談、記念品を贈られました。その後、尾道では平谷尾道市長を表敬訪問し、加古川を経て、アースキャラバン京都において、特設ブースやステージで「平和の火」と「被爆樹の苗」が紹介されました。アースキャラバンは5月31日、カナダ・トロント市庁舎前で平和イベントを行い、訪れたトロント市長 John Tory 氏に被爆樹の種を手渡し、広島・長崎・尾道市長からのアースキャラバンへのメッセージを披露しました。8月2日、中東・イスラエルへと移動、スタディツアーとしてイスラエルのマイノリティの村やパレスチナの難民キャンプにある知的障がいの子もたちの施設や孤児院、イスラエルに奪われた土地の返却を求める村の活動の場に足を運びました。パレスチナ自治区内のベツレヘムでは、「ベツレヘム・フェスティバル」に4日間にわたり参加。ゲストにベツレヘム副市長イッサム・ユハ氏、在パレスチナ日本大使代理の間瀬氏、国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）の清田明宏氏らを迎え、代表の遠藤暁及より、広島・長崎・尾道市長からお預かりした平和のメッセージとともに被爆樹の種を贈りました。8月9日の長崎原爆投下の日には、エルサレムの地でピースウォークを行い、4つの宗教（イスラム教、キリスト教、ユダヤ教、仏教）の宗教者が、宗教の壁を超えて共に世界の平和を誓い合いました。8月15日カナダ・ケベック、9月22日浜松、24日、25日東京でイベントを行い、「アースキャラバン2016」は幕を閉じました。

Earth Caravan ピースサイクリング



- 【日時】 前半：4月14日（木）～5月3日（火） 後半：9月19日（月）～9月25日（日）
【行程】 長崎市役所～京都・梅小路公園（前半） 京都・知恩院前～東京・木場公園（後半）
【協力】 ◇アンデックススポーツサイクル◇スペシャルサンクス・ご協力いただいたすべての方々。

【概要】 福岡県星野村に今も灯されて続けている広島原爆の残り火「平和の火」と、長崎の被爆樹（被爆して生き残った樹）を携え、長崎から東京まで、各地で平和のメッセージを発信しながら自転車でリレーしました。今回は、サイクリングの途上で、世界161カ国・6,991都市が賛同する「平和首長会議（会長・広島市、副会長・長崎市）」の参加自治体、長崎市（4月14日）・広島市（4月22日）・尾道市（4月26日）各市長への表敬訪問を敢行し、さらに京都も含めた4都市の市長からピースメッセージを頂戴しました。これらのメッセージは、ピースサイクリング前半終了後、被爆樹の種とともにトロント（カナダ）とベツレヘム（パレスチナ）の市長のもとへ大切に届けられました。

【行程】 4月14日、田上長崎市長にお見送りいただき、イギリス人のスーザン・エディさん、大学生の中村圭甫さんらピースサイクリングチームが長崎市役所を出発。広島など各地を経由し、たくさんの方の応援を得て、5月3日、無事に京都に到着しました。その後、アースキャラバン北米・中東を経て、9月19日、アースキャラバンメンバーによるサイクリングチームが再び京都を出発。「平和の火」をリレーしながら浜松イベントを経由し、9月25日、最終地である東京まで走り切りました。各地のキャラバン開催地では、ランプに灯された「平和の火」が、人類が二度と繰り返してはならない被爆の記憶を伝え、平和な世界の実現への願いを人々の心に刻みました。

【平和の火とは？】

1945年8月6日広島に投下された原爆の残り火です。福岡県星野村出身の山本達雄さんという方が、原爆投下からひと月あまり後、焦土と化した広島でくすぶり続けていた火を、亡くなった叔父さんの遺骨の代わりとしてカイロに移して持ち帰りました。火はそれから23年にわたって山本さんの手で保管された後、星野村に引き継がれて今日に至ります。



- 【提供】 使用自転車/アンデックススポーツサイクル製「ミケ凧」・自転車提供/アンデックス株式会社スポーツサイクル事業部様、ヘルメットその他自転車用品提供/株式会社オージーケーカブト様、サイクルウェア提供/株式会社チャンピオンシステム様

Earth Caravan 2016 in 長崎



◆長崎市役所前-ピースサイクリング出発式

- 【日時】 4月14日（木）
【場所】 長崎市役所前（長崎市議会前広場）
【概要】 田上富久長崎市長よりご挨拶とメッセージをいただきました。ピースサイクリング出発式ではご来賓の田上長崎市長から素晴らしいご挨拶とメッセージを頂戴しました。また被爆者の小峰秀孝さん、被爆二世の新海智佐子さんらがスピーチを行い、原爆の悲惨さと平和の大切さをうたえました。

◆長崎ピースコンサート

- 【日時】 5月6日（金）12:30～19:00
【場所】 JR長崎駅ビル アミュプラザかもめ広場
ゴールデンウィークには長崎駅でピースコンサートを行いました。アースキャラバンに賛同するアーティストたちが駆け付け、音楽ライブや舞踏を披露。クリス・モズデル氏による詩の朗読などを通



して、平和への願いを伝え、道行く人にアースキャラバンの活動を知っていただく機会となりました。



Earth Caravan 2016 in 広島



【日時】 4月22日（金）

◆広島市長表敬訪問-ピースサイクリング到着報告会

4月22日13時30分より、広島市役所にて「広島市長表敬訪問～ピースサイクリング到着報告会～」が行われました。あいにく松井市長は急な出張でお会いできませんでしたが、室田副市長にご対応していただきました。終始和やかな会となりました。

広島市長が会長を務める平和首長会議には、161カ国7000もの都市が加盟。核兵器廃絶に理解を示す国や都市が増えているそうです。アースキャラバンのような草の根の団体が、世界の都市に働きかけ、加盟都市を増やす活動するのは大歓迎とのこと。核兵器廃絶に向け、今後もお互い協力して活動していくことを約束しました。室田副市長、広島平和文化センター、広島市のみなさん、お忙しい中、とても有意義な時間をありがとうございました。

※つづれ織りの記念品をいただきました。



◆アースキャラバン広島イベント

【日時】 マーケット・コンサート4月23日（土）～4月24日（日）11:00～17:00

ピースキャンドルナイト4月23日（土）18:30～20:30

【会場】 広島市ハノーバー庭園及び平和記念公園 周辺（出展ブース約47）

【概要】 **ピースサイクリング**：22日に広島に到着したスーザンさんは、アースキャラバン代表 遠藤暁及らとともに広島市役所を表敬訪問し、松井市長からのメッセージをいただきました。24日14時、スーザンさんたちはハノーバー庭園から日本列島を東に向けて出発しました。コンサートでは、あたたかな歌声で会場を魅了した岩田雄大さんがサポートカーで伴走し、次の目的地・尾道に向かいました。

マーケット&コンサート：47の出店者の方々が、食べ物や雑貨の販売、海外支援活動の啓発などを行い、多くの来場者でにぎわいました。また、指圧や平和のボードゲームも実施。ピースコンサートには2日間で19のアーティストや団体が出演し、音楽やパフォーマンスを披露しました。

ピースキャンドルナイト：23日の夕方、原爆ドームをバックに平和の火を灯し、ライブを行ないました。宗教融合ソングと「SHARE!」の合唱には、虹色コーラスの皆さん、小学生の安塚かのんさん（バイオリン）と、同じく小学生の歌島龍人さん（歌・ソロ）が参加してくださいました。また、アミナダブ（遠藤暁及のユニット）のライブや、クリス・モズデル氏による詩「金色の華の炎」の朗読には、海外からの観光客なども足を



をとめて聴き入っていました。 ※出店者の方々の了承を得て、急遽24日のチャリティ収益の100パーセントを、4月14日の熊本地震で被災された方々への支援とさせていただきます。

Earth Caravan 2016 in 尾道



【日時】 4月26日（火）

◆**尾道市長表敬訪問** 4月26日、午後3時より、尾道市役所において平谷裕宏尾道市長を表敬訪問いたしました。冒頭、平谷市長から、尾道市に本社を構えるアンデックス株式会社の「ミケ凧」でスーザンさんがピースサイクリングをおこなっていることに対して、感謝の言葉をいただきました。アンデックス株式会社様がピースサイクリングにいち早く協賛してくださった旨をお伝えし、私どもの方こそ感謝しておりますと申し上げました。平谷市長ご自身もサイクリストで、さまざまなレースにも参加されていらっしゃるとのこと。また尾道市は「しまなみ海道」が世界的に注目されていて、サイクリングを楽しむために、国内はもとより海外からもたくさんの方が訪れているということをお聞きしました。そのような環境の中で、自転車で「平和の火」をリレーしていく「ピースサイクリング」は、まさに尾道から世界に平和へのメッセージを発信していくことで、大いに共感していただいたと感じています。この日の夜に妙宣寺様で開催した「平和の火・ピースキャンドルナイトLIVE」で、平谷市長からの「平和へのメッセージ」を朗読させていただきました。



【日時】 4月26日（火） 18:00~21:00

【会場】 尾道市・日蓮宗妙宣寺 本堂・境内

【協賛】 アンデックス株式会社

【協力】 日蓮宗妙宣寺（加藤慈然住職・加藤千政副住職）、園山俊二（尾道イーハートブ代表）

【概要】 ピースサイクリングの自転車を提供いただいているアンデックス株式会社の本社がある尾道で、ミニイベントを開催。日蓮宗妙宣寺・加藤慈然住職には、アースキャラバンの趣旨にご賛同いただき、本堂および境内を無償で使わせていただきました。また、尾道市在住のアーティスト・園山俊二氏による、原爆犠牲者の追悼と平和の祈りを込めたキャンドル・アートで、妙宣寺境内はやさしい光に彩られました。本堂で行われたピースコンサートには、ニッキー・マツモトさん、岩田雄大さん、アミナダブラらが出演、加藤千政副住職の篠笛と遠藤暁及のギターによる即興のセッションも行われました。最後に、尾道市・平谷裕宏市長の「平和へのメッセージ」を読み上げ、「平和の火」によって点火されたキャンドル・アートの火を来場者全員で消して、原爆被災者、戦争被災者への追悼と平和への願いを共有しました。



Earth Caravan 2016 in 加古川



【日時】 4月29日（金） 15:30~

【会場】 合名会社 岡田本家

【協賛】 西嶋盛彦、岡田本家、万能スポーツ整骨院、ファイテン加古川特約店、株式会社健康ライフ

【共催】 高御位神武館（養真会、冠光寺合気道）

【概要】 ピースサイクリングの中継地点である加古川にて、イベントを開催しました。アースキャラバンのことを知った西嶋盛彦氏のプロデュースにより、岡田本家様の協力のもと酒蔵内で美味しい地酒を味わいながらのキャンドルナイト・ライブとなりました。アースキャラバン発起人・遠藤暁及のバンド、アミナダブはじめ、地元アーティストたちによる心温まる演奏や、ピースサイクリング走者スーザン・エディさんによる、迫力溢れる空手の演武が披露されました。その後、来場者が各々の願いを書いたキャンドルに「平和の火」を灯





し、この火についての詩「金色の華の炎」の朗読を行いました。手にしたキャンドルの火に思いを寄せながら涙する人の姿も見られ、ひとりひとりの方に平和の大切さについてじっくりと考えていただくひと時となりました。



Earth Caravan 2016 in 京都



【日時】 5月3日（火）～4日（水）10:00～17:00

【会場】 京都梅小路公園 水族館前 野外ステージ周辺（出店／展ブース49）

【共催】 グリーンフェア（公益財団法人 京都市都市緑化協会）

【協力】 おんらく市場、京都ニンジャムキッズ、NPO 法人スウィング、本町エスコラ、シリアンハンズ、NPO 法人ワークス共同作業所、鈴木絹江、矢吹敏文、関西よつ葉連絡会西京都共同購入会、

【概要】 “「こんな世界になったらええなあ〜」をカタチに！” をコンセプトに、車椅子やダウン症の子どもたち、海外の方などを含む10,000人あまりの来場者で賑わいました。今回は「平和の火ブース」を設けて展示



を行い、平和の啓発に力を入れました。また、多くのボランティア・スタッフの参加により、新たな人のつながりが生まれました。

チャリティーマーケット：今年も多くの出店者の方々がチャリティーにご協力くださり、会場は分かち合いのあたたかく明るい空気に包まれました。ピースアートで

は、平和の願いを込めた絵画の制作を通じ、障がい者健常者の別なく交流が生まれました。

きゃらばん食堂：「安心・安全・美味しい」を心がけ、化学調味料や白砂糖無添加のカレーを提供しました。イベント内で一定時間手伝いをした方には無料で食券を配布し、その権利を別の誰かに譲渡することもできる仕組みを取り入れ、参加者に「場のクリエイイト」「分かち合い」といった、アースキャラバンの理念を楽しく体験していただくことができました。

ピースコンサート：2日間で20組のアーティストたちが音楽や踊りなどを披露し、会場を彩りました。来場者とともにいった盆踊りには次々に人が加わり、

人々の楽しそうな笑顔に、キャラバンが目指す未来の姿が象徴されるようでした。4日のフィナーレでは、今年も OSM ゴスペルアンサンブルの皆さんとともに異宗教融合ソングやテーマソング「SHARE!」を歌い、宗教を超えた世界の平和の実現を呼びかけて閉幕となりました。

Earth Caravan 2016 in 浜松



【日時】 9月22日（木）10:00～17:00

【会場】 浜松駅北口広場キタラ及び遠鉄百貨店前（出展ブース1）

【協力】 特定非営利活動法人ドリームフィールド（代表・大山浩司）

【概要】 遠鉄百貨店前にブースを設け、各地におけるアースキャラバンの取り組みや「平和の火」の紹介、指圧、ボードゲームを実施しました。NPO 法人ドリーム・フィールド主催「バリアフリーコンサート」とのタイアップで同時開催したピースコンサートには多くの方が足を止め、音楽に聴き入っていました。最後にフリースクールの子もたちとともに「イマジン」を合唱し、自由な世界の実現を呼びかけた後、異宗教融合ソングと「SHARE!」を歌って閉幕となりました。



Earth Caravan 2016 in 東京



【日時】 9月24日(土) 12:00~18:00、9月25日(日) 11:00~18:30

【会場】 東京都立木場公園(出店ブース38店舗)

【後援】 江東区、江東区観光協会

【協賛】 有限会社 AMA Japan、株式会社朝倉製作所、沖縄物産真南風、はなみずき鍼灸マッサージ治療院、まこと保育園、日本国際テコンドー協会、MAGAM PROJECT [協力店] Mammacafe151A、クールダンジュ、肉菜処和心、肉の旭屋、RHINO 門前仲町、Organic Café LuLu、LUFF、天然酵母パンコルネ清澄白河、ちーずのこえ、おいしいパンとおうちでワイン とまーと、Café&Bar Field、深川いっぷく、あずま屋文具店、御菓子司双葉、カード&CARD 東陽店、tsukihana288

【概要】

ピースコンサート: 障がいを持つ子どもから大人までのダンスサークルや、日本国際テコンドー協会の演武、ペルーの伝統的な舞踏マリネラなど、様々な国や地域、種目のステージを開催。出演者たちが、音楽やダンスを通じて平和への願いを表現しました。

チャリティマーケット: 純利益100%チャリティするマーケット。今年は福祉作業所からの参加も5店舗に増え、イベントを盛り上げていただきました。出店者、ボランティアの方々ともつながりを深めることができました。



交流ブース: パレスチナやシリアの現状を伝える

ことで、世界では多くの命が犠牲になっていること、そのために平和のために何ができるか考えるきっかけ作りができました。

平和の火ブース: 「平和の火」の持つ意味を伝えながら、願いをこめて折り鶴を折り、ピースアートを描いていただきました。

ピースキャンドル: 4大宗教の宗教者が戦争の犠牲者の冥福を祈り、世界から戦争がなくなることを参加者とともに願って、人種、宗教が異なっても人々は理解し合えること、また、平和のために一緒に手を携えることができることを呼びかけました。TSM ゴスペルアンサンブルの皆さんとともに異宗教融合ソングと「SHARE！」を

コーラスした後、平和の祈りをこめて各々が手にした「平和の火」のキャンドルを吹き消して、アースキャラバン2016の閉幕となりました。

Earth Caravan 2016 in 中東



【日時】 8月1日(月)~9日(火)

【会場】 イスラエル、パレスチナ

【協力】 Holy Land Trust (キリスト教系人権団体)、パレスチナ自然歴史博物館(ベツレヘム大学)、特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima (グリーン・レガシー・ヒロシマ)、イエス劇場、スライマ・ジェラッシ、タオサンガ・イスラエル

【概要】 **ベツレヘム・フェスティバル:** パレスチナ自治区内の都市ベツレヘムで、人権団体であるホーリーランド・トラスト主催「ベツレヘム・フェスティバル」に、同団体とのタイアップで4日間にわたり参加しました。毎年国内外から3万人余りが来場する街を上げての祭典で、メインステージではアースキャラバンメンバーも歌や踊りを披露、会場を沸かせました。街の一角には「日本文化体験コーナー」を設け、着物の着付けと販売、指圧、お茶席、巻寿司、ボードゲームなどを実施。大盛況となり、その収益をパレスチナの人権団体などに寄付することができました。また今年は、広島
の被爆樹(原爆を生き延びた樹)の種を現地に運び、フェスティバルのステージで植種のセレモニーを行いました。ゲストにベツレヘム副市長イッサム・ユハ氏、在パレスチナ日本大使代理の間瀬氏、国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)の清田明宏氏、ベツレヘム大学のマジン・クムシエ教授らを迎え、アースキャラバン代表 遠藤暁及より、広島・長崎・尾道市長からお預かりした平和のメッセージとともに種を贈りました。種はその後(9月4日)ベツレヘム大学の植物園に植えられました。





スタディ・ツアー：イスラエル側では、イスラエル人同士における差別の問題について話をうかがったほか、他部族、他宗教といったイスラエル側におけるマイノリティの村（ジャット・ヤヌッヒ村〈ドルーズ教徒〉、タルシチャ村〈イスラム教徒〉、ケファ・ベラディム町〈ユダヤ教徒〉）を訪問し、音楽などを通じて交流を行いました。パレスチナでは、難民キャンプにある知的障がいのある子どもたちの施設（SOS Children's Villages International/PALESTINE）や孤児院、相次ぐイスラエル軍による逮捕・抑留で傷ついた子どもたちをケアする活動（ヘブロン）、イスラエルに奪われた土地の返却を求める村の活動の場に足を運びました。施設ではリトミックなどを行うと、子どもたちに笑顔が広がりました。また、母親たちの過酷な実体験を聞いたり、村の抗議デモに参加した

ことで、より深く共感が生まれました。8月9日の長崎原爆投下の日には、エルサレムの地でピースウォークを行い、4つの宗教（イスラム教、キリスト教、ユダヤ教、仏教）の宗教者が、共に世界の平和を誓い合いました。

浄水器プロジェクト：アースキャラバンは今年、日本の企業（株式会社プロテックLLC）より簡易浄水器の寄付を受け、これをパレスチナに普及するためのプロジェクトを開始しました。パレスチナの多くの土地では、イスラエルにより水の供給がコントロールされています。そのため各地で慢性的な水不足や、雨水の使用などによる子どもたちの健康被害などが出ています。現在は、パレスチナ大学学生の協力によって、この簡易浄水器を製作するために必要な人材と資材を確保するための調査にあたっています。



Earth Caravan 2016 in ケベック Canada



【日時】 8月15日（月）～19日（金）

【会場】 カナダ・ケベック州ミンガン、ナタシュクアン北米先住民（ファースト・ネイション）居住区（指圧テント6、ワークショップ4）

【協力】 ケベック・イヌー・ネイション・コミュニティ、Montreal Korean Japanese food inc

【概要】 NPO アースキャラバン北米スタッフを中心に、北米先住民民族であるイヌー族の居住区で、タオ指圧の施術、親子タオ指圧教室や、コミュニケーション・ワークショップ、アート教室（子ども用）、文化交流などを行いました。子ども向けのワークショップは大盛況となり、文化交流では日本文化として寿司教室を行う一方、先方からはスウェットロッジ（伝統儀式を行う小屋）に招待されました。これらの地域は文化の否定や差別を受け、就職困難や、それに伴う飲酒やドラッグといったさまざまな痛みを抱えていますが、今回の交流により、深いレベルで共感し合うことができました。また、ミンガンでは人口の10%が指圧を受療され、必要な方にはその後も継続してケアを行っています。



【日時】 5月31日（水） 12：45～19：00

【会場】 ネーサン・フィリップ・スクエア（トロント市庁舎前広場）（出店数7）

【協力】 トロント市、JCCC（日経文化会館）、広島長崎の日の連帯、日加タイムス、JCCC 合気会、グローバル・デジタル・シチズン・ファンデーション、TORJA（日系マガジン）、bits（日系マガジン）

【概要】

カナダ・トロント市では、市庁前広場で異宗教合同の平和への祈りを捧げた後、トロント市長 John Tory 氏へ、被爆樹の種と広島・長崎・尾道市長からのメッセージを手渡すことができました。ミュージシャンたちの演奏や合気道の演武、東洋医学を基にしたヨガやストレッチの参加型デモンストレーション、平和の詩の朗読、民舞、三味線の演奏、チャリティ・マーケット出店者による物品の販売などを行いました。参加した方々に日本文化の特性でもある「和」を体感していただき、世界平和実現に向けた夢を分かち合うことができました。



ジョン・トーリー／トロント市長と共に



Earth Caravan 2016 支援報告書

1. パレスチナへの支援

1) デイシャ・リハビリセンター（難民キャンプ内の障害児施設）



車椅子や耳の不自由な子のための補聴器などの支援金として \$1000

「全てのアースキャラバン・メンバーの皆さまへ」

「世界には、こうして私たちのことを気遣ってくださる方がいらっしゃるという希望を与えてくださったこと、また、アースキャラバンの訪問によって経験させていただいたすべてに対してお礼申し上げます。同時に、あなた方が与えて下さった安心感

や、かもしだす肯定的な雰囲気、また心を解放させる体験に、障がいを持った子どもたちが参加できたことも。

あなた方が子供たちに示して下さい、そして私たちにも手渡して下さい、人間の本当の心、気持ちに対して、もう一度、感謝申し上げます。ありがとうございました。あなた方が、またセンターを訪問することや子どもたちに接して下さることを考えてくださったなら、私たちはただ単に歓迎という言葉では表すことができないくらいです。皆さまと再びお会いできる日が来ることを願っています」 イマド・オーデン



2) SOS チルドレン村



(ベツレヘム近郊にある孤児院) \$ 1000

「アースキャラバンの皆さまが、資金難のために存続困難な当施設を訪れ、子供たちを励まし、さらには思いがけずご寄付までして下さったことには、感謝の言葉もありません。」 スライマ・ジェラシ

3) ビリン村

(イスラエル軍と入植者による土地収奪に対する非暴力抵抗運動への支援)

イスラエル軍に奪われた自動車、コンピューター、携帯電話などの補填の一部として \$ 800

※占領地への入植は国際法違反とされています。



「アースキャラバンの友人たちへ」

「皆様がビリン村を訪問してくださり、人権への回復を求める私たち家族に対する支援を深く感謝しています。皆さんと、自由パレスチナのために再び会えることを心から願っています」 ハイサム・カティヴ

4) ベドウィン

子どもの通学補助を行うイエスシアター \$ 300



「学校へ行くことと学校にたどり着くことは、夢でなくまた夢であってはならない。それは人が得られる基本的な権利です。1ドルが大きな違いを生むのです。150ドルで4人の少女が学校に復帰できます。皆様の暖かいご支援に心から感謝します」 イエスシアター:ムハンマド・イサ
ベドウィンの子どもたちは、小学校まで3.5キロ離れた場所で暮らしています。そのため1日に7キロを雨の日も嵐の日も寒い時も学校に歩いて通います。6歳の子どもは片道2時間半かかるそうです。夏の暑い中を歩くのは、冬の寒い時より辛い。また1時間雨に打たれながら歩いた

後は話すこともできない。道にはイスラエル軍が意図的に置いた大きな障害物もあます。学校にたどり着けない子供たちがドロップアウトすると、女の子は1年程母親の家事を手伝った後、早婚します。14歳で結婚した女の子の話もあります。

2. バングラディッシュ 少数民族仏教徒への支援

バングラディッシュ政府は、少数民族仏教徒たちが住むチタゴン丘にベンガル人の入植を進めて来ました。そしてベンガル人による土地収奪、バングラディッシュ軍による殺人、家屋放火、強姦など、弾圧は苛烈を極め、1997年までの間に直接殺害されたジュマ民族は三万人（十万人という説もある）を上回るとも言われています。尚、現在も土地を奪おうとするベンガル人入植者の襲撃や弾圧が続いています。

1) ジュマ民族の難民の赤ちゃんの治療費 30,000円「アースキャラバンの皆様からの暖かいご支援金は、ウジョ・チャクマちゃん（Ujo Chakma, 男、2014年11月生）が重病を患っており、その治療費の一部として使わせて頂きます。」 ジュマ・ネット共同代表：トム・エスキルセン



2) ラカイン民族への教育支援 100,000円



NPO アースキャラバンでは2006年より、同じくバングラデシュ少数民族仏教徒であるラカイン民族の教育支援を継続的に行っています。

現地事務所を設け、現在四つの小学校を運営し、仏教の聖地公園を復興するなど、年間約

86万円の支援を今回のアースキャラバンとは別に行っています。アースキャラバン2016では、今回のチャリティイベントのキャラバン本部ブース（法人運営）の売り上げから、新たに開校した4つ目の学校の設備費として10万円を支援金としました。

「NPO アースキャラバンの支援が始まってから、ラカイン村の子供たちが、より良い教育を受けられるようになりました。長年荒れ果てていた聖地の仏舎利塔群も復興し、私たちは再び民族の誇りを取り戻すようになり、心から感謝しています」 コックスバザール事務所所長 ラジョー・ラカイン

3 シリアの戦災で苦しむ人々への支援 100,000円

困窮を極めているシリアにいる人々へ、支援団体シリアン・ハンズを通して現地に支援金を送りました。



<シリアン・ハンズからの感謝状>

4. 特別支援

熊本地震被災地への義援金として

80,000円

アースキャラバン加古川とアースキャラバン広島
島のチャリティの一部から、総計8万円が熊本市に
義援金として送られました。

※アースキャラバン加古川は、酒造・岡田本家と
西嶋盛彦氏のご協力のもと行われました。



【アースキャラバン2016 支援金概要】



1. パレスチナへの支援

- 1) **デーシャ・リハビリセンター**（難民キャンプ内の障害児施設）
車椅子や耳の不自由な子のための補聴器などの支援金として \$ 1000
- 2) **SOS チルドレン村**（ベツレヘム近郊にある孤児院） \$ 1000
- 3) **ピリン村**（イスラエル軍と入植者による土地収奪に対する非暴力抵抗運動への支援）
イスラエル軍に奪われた自動車、コンピューター、携帯電話などの補填の一部として \$ 800
- 4) **ベドウィン** 子どもの通学費補助を行うイエスシアターへ \$ 300
- 5) **その他** Holy Land Trust (キリスト教系人権団体)へ、ドル、シュケルで日本円にして 46,286 円。Tent of Nation 支援金 \$ 300、ピースウォーク支援金 \$ 500 その他パレスチナ支援団体へ 1890 シュケル

2. バングラディシュ 少数民族仏教徒への支援

- 1) ジュマ民族の難民の赤ちゃんの治療費...30,000円
- 2) ラカイン民族への教育支援 100,000円

3. シリアの戦災で苦しむ人々への支援 100,000円

困窮を極めているシリアにいる人々へ、支援団体シリアン・ハンズを通して現地に支援金を送りました。

4. 特別支援（熊本地震被災地への義援金）

熊本被災地への義援金として80,000円

5. その他支援 86,450円(国内)

■支援総額 940,136円

総額3,900ドル+499,436円の支援を行いました。 ※1ドル113円で換算

Earth Caravan 2016収支報告



【総収入額】 6,070,503 円 ■マーケット支援金 955,741 円 ■活動への寄付金 1,602,783 円
■アースキャラバン事業費（NPOより拠出）1,465,000 円 ■雑収入 1,309,955 円
【総支出額】 6,065,812 円 ■支援金（国内外） 940,136 円 ■キャラバン運営費 5,125,676 円
【収支差額】 4,761 円

【ご報告】アースキャラバン2016では、シリアやパレスチナの各所、バングラディシュの子ども達への支援及び熊本地震への義援金ほかとして、総額「940,136円」を送金させていただきました。各地のイベントでは、出店者様のご協力のもと、売上から経費を差し引いた純益100%、総額「955,741円」をアースキャラバン支援金としてご寄付いただきました。皆様方のご厚意に対し、心より御礼申し上げます。

広報活動は、記者会見、チラシ・ポスター、CD、DVD、テレビ出演、ホームページなどの媒体により行いました。お陰をもちまして今回もマスコミの取材を多数いただきました。なお、スタッフは全員、無報酬のボランティアとして活動いたしました。この度の皆様方のご支援・ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

2016年12月31日 アースキャラバン実行委員会 全体実行委員長 遠藤暁及

【主催団体・NPO アースキャラバンについて】

名称	特定非営利活動法人 アースキャラバン
設立	平成 18 年 4 月 26 日
事務所	京都市東山区古門前通大和大路東入元町 367 番地 2
代表者	理事長 野本祐子 (設立時理事長 遠藤暁及)
目的等	人種、国籍、宗教、信条を問わず全ての人々に対して、気と心の学校の開講、全体の施術、地域通貨の運営、芸術活動、海外援助活動に関する事業を行い、世界中の明るく豊かな未来に寄与することを目的とする。
事業内容	①気と心の学校の開校 ②全体の施術 ③地域通貨の運営 ④チャリティーコンサート、チャリティー展覧会の企画及び運営 ⑤海外援助活動⑥その他

【沿革】

- 平成 18 年 4 月 26 日 浄土宗和田寺の住職でタオ指圧創始者の遠藤暁及によって設立される。東京と京都で「気と心の学校」、チャリティ施術等を開始し現在に至る。中東の子ども達への支援を開始。
- 平成 19 年度 バングラデシュの子どもたちに対する教育支援活動を開始（孤児院 1、小学校 2 を開設。以後、毎年継続的に支援）
- 平成 21～22 年度 ハイチ地震復興支援活動
- 平成 23 年 3 月 東北大震災支援活動開始（物資援助、被災者への定期ボランティア指圧の実施）、「ユニ・チャリティフェスティバル 2011」開催。
- 平成 24 年～25 年度 パレスチナ支援、タイ/HIV 孤児施設への支援。京都センターにて、震災避難者にボランティア指圧施術(月 2 回)、気仙沼避難所にボランティア施術者派遣。「ユニ・チャリティフェスティバル 2012」京都・国際交流会館にて開催。
- 平成 25 年度 フィリピン、レイテ等台風被害支援（椰子の木募金）アメリカ・オクラホマ竜巻支援金。戦時写真返還プロジェクト（元アメリカ兵が所持していた写真の写真展開催。2 遺族への返還。沖縄タイムス、朝日新聞、京都新聞に記事掲載）、京都・梅小路公園にて「ユニ・チャリティフェスティバル 2013」開催（チャリティ収益金約 100 万円）。
- 平成 26 年度 バングラデシュの少数民族仏教徒ラカイン族の里親プロジェクトを開始。
- 「アース・キャラバン 2015」広島からスタートし、ヨーロッパ、中東を巡り、エルサレムにて終了。
- 「アース・キャラバン 2016」長崎からスタートし、国内各地、カナダ、中東を巡った。
- ◆「アース・キャラバン 2017」実行委員会スタート

【Earth Caravan 呼びかけ人プロフィール】

- ・遠藤 暁及/ 浄土宗和田寺住職
タオ指圧/気心道創始者、ミュージシャン、平和活動家、ゲーム発明家（チャトランガ）など、様々な顔を持つ。タオサンガ・インターナショナル代表（国内 2 拠点、ヨーロッパ、アメリカ、カナダなど海外 11 拠点）。1990 年より、世界 12 か国で、タオ指圧&気心道、念仏ワークショップ等を行う。
「<気と経絡> 癒しの指圧法」(講談社+α新書)など、9 冊の著書があり、その多くが数か国語に翻訳出版。音楽家としては、6 枚の CD アルバムをリリースし、国内外のテレビやラジオでオンエアされている。アースキャラバン 2015 のテーマ曲「SHARE!」は遠藤氏の作詞作曲。
オフィシャルサイト：<http://endo-ryokyu.com>
 - ・伊藤 憲正 (ito 商会代表、被爆二世) / 広島担当
- ◇ヨーロッパ
- ・アルフレッド・ミュラー/ウィーン阿弥陀センター代表、オーストリア在住
 - ・アリス・シュミッツホーファー/医師 オーストリア在住
 - ・オリバー・ストッカー/ドルンビルン・タオサンガ代表 オーストリア在住
- ◇中東
- ・マガリ・ボシュ/タオ指圧セラピスト イスラエル在住
 - ・サミ・アワード/Holy Land Trust 代表 パレスチナ在住

わたしたちも、^{アースキャラバン}Earth Caravan に賛同しています!

 作詞家 クリス・モズデル	 医師(バレスチナ人) イゼルディン・ アペライーシュ	 小説家・ 明治学院大学教授 高橋 源一郎	 俳優 鶴見 辰吾	 詩人 アーサー・ ピナード	 映像作家 鎌仲 ひとみ	 ハーブ研究者 ベニシア・ スタンリー・スミス	 映画監督 ガイ・ダビディ	 料理研究者 枝元 なほみ	 冒険家 アドベンチャー・ランナー 高繁 勝彦
 漫画家 めんどろーさ	 文化人類学者・ 環境運動家 辻 信一	 ジャーナリスト 志葉玲	 ルワンダの国民的 ミュージシャン マニ・マーティン	 環境ジャーナリスト アイリーン・ 美緒子・スミス	 NPO法人ルワンダの 教育を考える会理事長 ガンペンガ・ マリールーズ	 ジャズピアニスト 河野 康弘	 写真家 相原 正明	 旅行作家 下川 裕治	 前広島平和文化 センター理事長 スティーブン・ リーパー
 曹洞宗 国際センター所長 藤田 一照	 画家 曲面絵画作家 ブライアン・ ウィリアムズ	 評論家 関西大学教授 白石 真澄	 NPO法人SADAKO LEGACY 副代表 シンガーソングライター 佐々木 祐滋	 作家 いしいしんじ	 ゴスペルディレクター 池末 信	 元 TV 局日本語番組 プロデューサー 中村 行子	 ミュージシャン 内田 ボブ	 シタール奏者 ヨシダ ダイキチ	 作家 プロデューサー 天川 彩
 広島市立大学 国際学部教授 湯浅 正恵	 共生革命家 ソーヤ・海	 ヨーガ・ インストラクター 伊藤 華野	 映像作家・音楽家 金 大偉	 作曲家・ 音楽プロデューサー 岡野 弘幹	 作家・ グラフィックデザイナー 蔵前 仁一	 自然医師 石井 真美	 浄土宗/ハワイ総監 ワジラ・ワンサ	 イスラエルの 平和活動家ラビ エマ・シャンバ・ アヤロン	 べてる式当事者 研究室 室長 向谷地 宣明

吉永 小百合(俳優), 高橋 源一郎(作家), 鶴見 辰吾(俳優), 辻 信一(文化人類学者), イゼルディン・アペライーシュ(医師), 枝元 なほみ(料理研究者), めんどろーさ(漫画家), 相原 正明(写真家), アイリーン・美緒子・スミス(環境ジャーナリスト), 金大偉(映像作家・音楽家), クリス・モズデル(作詞家), 白石 真澄(評論家 関西大学 教授), ブライアン・ウィリアムズ(画家), ベニシア・スタンリー・スミス(ハーブ研究者), マニ・マーティン(ミュージシャン), 鎌仲 ひとみ(映像作家), 船橋 淳(映画監督), ガンペンガ・マリールーズ(NPO法人ルワンダの教育を考える会 理事長), アーサー・ピナード(詩人), 志葉玲(ジャーナリスト), 川副 春海(浄土宗平和協会事務局長), 枝木 美香(アユス仏教国際協力ネットワーク事務局長), マジン・クイムシエ(ベツレヘム大学教授), 中村 行子(元 TV 局日本語番組プロデューサー), ジョナサン・ワッツ(アジア仏教センター特別研究員), 佐々木 祐滋(NPO 法人 SADAKO LEGACY 副代表 シンガーソングライター), 河野 秀海(一般社団法人 森になる代表理事), 藤井 真知子(NPO 法人たからばこ副理事長), ロバート・レフコート(弁護士), 國井 隆英(医師), クライブ・フランス(ジャーナリスト), 河野 康弘(ジャズピアニスト), マーティン・シュミッツホーファー(医師), 橋元 大和(スタイリスト), 湯浅 正恵(広島市立大学 教授), 内田 ボブ(ミュージシャン), ヨシダ ダイキチ(シタール奏者), 守田 敏也(フリーライター), 下川 裕治(旅行作家), ガイ・ダビディ(映画監督), スティーブン・リーパー(翻訳家・前財団法人広島平和文化センター理事長), 岡野 弘幹(作曲家、音楽プロデューサー), 蔵前 仁一(作家・グラフィックデザイナー), 伊藤 華野(ヨーガ・インストラクター), ワジラ・ワンサ(浄土宗ハワイ総監), エマ・シャンバ・アヤロン(イスラエルの平和活動家ラビ), いしいしんじ(作家), 石田 芳道(ドドン 僧侶タレント), 天川 彩(脚本家・プロデューサー), 石井 真美(自然医師), 藤田 一照(曹洞宗国際センター所長), ソーヤ・海(共生革命家), 伊藤 憲代(広島被爆一世), 信恵 勝彦(尾道「れいこう堂」店主), 石田 大介(ミュージシャン), 太田 シノブ(音楽家), 麓 俊貴(広島県), 早坂 潔(べてるの家 理事), 向谷地 宣明(べてる式当事者研究室 室長), HAOW(SingerSongWriter), 高繁 勝彦(冒険家・アドベンチャー・ランナー), 池末 信(ゴスペルディレクター), 牧原依里(映画監督), 雫境(響の舞踏家), ほか多数。

賛同者数：404名 2016年8月24日現在(敬称略、順不同)

Earth Caravan 2017 advance announcement



アースキャラバンは、国籍・人種・宗教の違いを乗り越え、戦争を無くすことを誓い合い、その誓いを世界中に発信する世界規模のイベントです。2015年に続いて、2016年も長崎、広島、尾道、加古川、京都、浜松、東京、カナダ、中東で開催され、世界各地で多くの反響をいただきました！

2017年も開催決定！ ぜひ、あなたもアースキャラバンにご参加ください！

◆Earth Caravan 2017 スケジュール一覧（予定）

アースキャラバン イベント

◆日本

【日時】 5/3（火）－ 5/4（水） 京都

【場所】 梅小路公園・水族館前野外ステージ
周辺 ◎アースキャラバン京都

【概要】 10:00-17:00 ピースコンサート
& チャリティマーケット他

【日時】 7/8（土）－ 7/9（日） 広島

【場所】 平和記念公園周辺 ◎アースキャラバン
広島 ハノーバー庭園（市民球場
跡地隣）

【概要】 ピースコンサート & チャリティマ
ーケット他

【日時】 9/9（土）－ 9/10（日） 東京

【場所】 木場公園 ◎アースキャラバン東京

【概要】 ピースコンサート、チャリティマ
ーケット、ワークショップ他



◆北米

【日時】 8/13（日）－ 8/21（月） カナダ ◎アースキャラバンフェスティバル

◆中東

【日時】 7/31（月） エルサレム 中東の現状を知る平和活動ツアー

8/1（火） エルサレム 及び、西岸地区（ナブルスなど）の観光

8/2（水） ヨルダン渓谷、家屋再建プロジェクトに参加

8/3（木） ベツレヘム 午前：難民キャンプの子どもたちと交流、午後：ベツレヘムフェス参加

8/4（金） ベツレヘム 午前：ベツレヘム観光、または現地の平和活動に参加、午後：ベツレヘムフェス参加

8/5（土） ベツレヘム 午前：ベツレヘム大学教授から学ぶ環境と平和学、午後：ベツレヘムフェス参加

8/6（日） ベツレヘム 午前：パレスチナのお母さんと交流、午後：ベツレヘムフェス参加

8/7（月） エルサレム 異宗教融合ピースウォーク

※その他、詳細は決まり次第、随時HPにてお知らせいたします。

アースキャラバンでは賛同者、協賛、後援企業・団体、スタッフを募集しています！

お問い合わせ

◇NPO アースキャラバン

アースキャラバン実行委員会

〒605-0089

京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町
367-2

京都タオサンガセンター内

【TEL/FAX】 075-551-2770

【mail】 info@earthcaravan.jp

◇NPO アースキャラバン 東京事務局

アースキャラバン実行委員会

〒165-0027

東京都中野区野方 1-5-11

東京タオサンガセンター内

【TEL】 03-3385-7558

【mail】 info@earthcaravan.jp

特定非営利活動法人アースキャラバン